

「第7回上海世界旅遊資源博覧会」への ブース出展に関する報告

2010年5月27日(木)～29日(土)、上海展覧中心において開催された「第7回上海世界旅遊資源博覧会(WTF2010)」に出展しました。

この博覧会は上海市旅遊事業管理委員会等の主催で、毎年開催されており、今年は世界の50の国・地域から観光関連団体・旅行会社など450団体が参加し、それぞれの観光資源を紹介しました。

当事務所は、ジャパンパビリオン内に「日本各地展」として、富山県、山梨県、岐阜県高山市、京都市の4自治体と共同出展し、中国の旅行業者や一般来場者に対して日本の69の自治体等から送付のあったポスター・パンフレット・DVDなどのPR資料による観光PRを行いました。

1 出展の目的

中国からの訪日旅行者は年々大幅な増加傾向にあり、日本の地方自治体による中国人旅行者の誘致活動も活発化しておりますが、日本の地方都市の知名度はまだ低いのが現状です。

当事務所は、地方自治体の中国での共同の窓口として、日中地域間の交流や地域のプロモーション活動などを積極的に支援しています。これまで、日本の地方自治体の要望を受け、北京、上海、大連、広州他各地での旅遊博覧会などで地方のPRを重点的に進めてきました。今回の博覧会についても日本の地方都市の魅力を紹介することにより、地方都市の知名度向上と訪日旅行者の誘客促進を図るため出展したものです。

2 開催概要

- (1) 会期：2010年5月27日(木)～5月29日(土)
- (2) 会場：上海展覧中心（上海市延安中路1000号）
- (3) 主催：上海市旅遊事業管理委員会
VNU エキジビションヨーロッパ
- (4) 参加対象：政府觀光局、旅行会社、ツアーオペレーター、航空会社、ホテル、リゾートチェーン、レンタカー会社、クルーズ会社、アトラクション、觀光風景スポット、旅行保険、旅行関連メディア等
- (5) 日本からの出展団体：
日本觀光振興機構(JNTO)、日本国自治体国際化協会北京事務所、茨城県、静岡県、福島県、東北觀光推進機構、横浜企業経営支援財団上海代表処、中部広域觀光推進協議会、徳島県国際觀光テーマ地区推進協議会、九州觀光推進機構、(財)沖縄觀光コンベンションビューロー、独立行政法人国際交流基金日中交流センター、ANA、JAL、JR西日本、東日本旅客鉄道株式会社、日本名鉄、農協觀光、(株)ジェイティービー

(6) 実績

＜出展者＞50 の国と地域から450 団体

＜来場者＞一般来場者 約15,000 人、業界関係者 約6,000 人

(7) スケジュール

5月27日（木） 9:00-17:00 業界日

5月28日（金） 9:00-17:00 業界日

5月29日（土） 9:00-16:00 一般開放

3 自治体からの資料提供、共同出展について

2010年3月、当協会各支部あてに「2010年上海国際旅遊資源博覧会」への参加意向調査を実施した結果、69自治体等（※1）からポスターやパンフレット、DVDの提供がありました。提供のあった13,695部のパンフレットはすべて配布しました。

また、上記参加意向調査で希望のあった富山県、山梨県、岐阜県高山市、京都市の4自治体とは共同出展を行いました。

（※1）北海道小樽市、北海道北見市、北海道稚内市、北海道美深町、北海道遠軽町、北海道平取町、西部北海道、青森県、青森県弘前市、岩手県、宮城県、宮城県仙台市、宮城県大崎市、秋田県、山形県、山形県上山市、茨城県、群馬県、群馬県草通町、埼玉県さいたま市、神奈川県、神奈川県横浜市、神奈川県小田原市、石川県、山梨県、岐阜県飛騨市、岐阜県下呂市、静岡県静岡市、静岡県熱海市、静岡県島田市、静岡県掛川市、静岡県下田市、愛知県名古屋市、愛知県常滑市、愛知県田原市、三重県、三重県伊勢志摩觀光コンベンション機構、滋賀県、京都府、京都府京丹後市、大阪府、大阪府大阪市、兵庫県宝塚市、和歌山県、和歌山県和歌山市、和歌山県白浜町、鳥取県、島根県、島根県松江市、岡山県、岡山県瀬戸内市、広島県広島市、広島県竹原市、徳島県徳島市、徳島県三好市、香川県、愛媛県、愛媛県今治市、高知県、福岡県、福岡県太宰府市、長崎県、熊本県、熊本県熊本市、大分県臼杵市、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、沖縄県那霸市

4 PR方法について

ジャパンパビリオン内に2ブースを確保（縦3m×横8m程度）し、次のとおり実施しました。

① 事務所職員によるPR

各自治体の観光PR用パンフレット配布、ポスター掲示、DVD上映などにより、当事務所職員が日本の各地域の観光PRを実施しました。

② 自治体職員によるPR（共同出展）

在中国自治体事務所や日本から派遣された富山県、山梨県、岐阜県高山市、京都市の職員が、当事務所のブースの一部（机半個分程度）にてそれぞれの地域の観光PRを実施しました。

5 アンケートの実施について

上海の旅行業者・一般来場者の動向を調査するために、博覧会場において一般来場者 100 名、旅行業者 100 名の合計 200 名の方に協力いただきアンケート調査を実施しました。

アンケート結果につきましては、下記の当事務所ホームページをご覧ください。
http://www.clair.org.cn/act_cont_3_4_2010.htm#012

6 終わりに

中国からの訪日旅行者は、2000 年 9 月の訪日団体観光ビザ発給開始以来、年々増加し、2008 年度は 100 万人を突破しています（※1）。

4 月訪日客は 2009 年 4 月よりも 4 万 4 千人増加しています（※2）。本展覧会において当事務所が行ったアンケート調査においても、桜の季節に行きたいという方が多い結果でした。J N T O によると、ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、本年 2 月から 3 月にかけて、新聞・雑誌・オフィスビル構内、地下鉄駅構内、大型ショッピングモールなどにおいて、桜などをテーマとして訪日旅行の広告、宣伝を展開したことです。

当事務所では、昨年の個人観光ビザ発給開始に引き続き、本年 7 月より開始された同ビザ発給要件の大幅緩和を訪日旅行客の拡大の絶好の機会ととらえ、今後も中国各地で開催される旅遊博覧会等に出展し、日本の自治体の観光や物産等の P R を実施することにより、自治体の対中国経済交流促進をサポートしていきます。

また、今回の博覧会出展にあたり、当事務所にパンフレット等を提供いただいた自治体にこの場を借りて感謝申し上げます。

なお、今年度の博覧会情報やこれまでの博覧会出展については、下記の当事務所ホームページをご参照ください。

http://www.clair.org.cn/activity_2.htm

※1 中国の訪日旅行者数推移 《J N T O 資料》

2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年
448,782 人	616,009 人	652,820 人	811,675 人	942,439 人	1,000,416 人

※2 4月の訪日旅行客数日比較 《JNTO 資料》

	2010年	2009年	伸び率
韓国	189,000人	113,313人	66.9%
中国	150,900人	106,816人	41.3%
台湾	109,700人	91,268人	20.2%
米国	66,900人	61,708人	8.4%
香港	46,600人	44,968人	3.6%
豪州	18,400人	15,929人	15.5%
タイ	36,800人	29,049人	26.7%
英國	18,400人	20,204人	△8.9%
カナダ	15,300人	14,618人	4.7%
フランス	17,500人	17,919人	△2.3%
ドイツ	10,200人	11,046人	△7.7%
シンガポール	13,800人	11,964人	15.3%
マレーシア	11,500人	9,161人	25.5%
インド	5,600人	4,764人	17.5%
ロシア	5,000人	3,578人	39.7%
その他	72,200人	70,008人	3.1%



ジャパンパビリオン入口



大盛況のクレアブース



福島県によるステージでのPRパフォーマンス